

No.	年齢・性別	既往歴	ワクチン名	経過	副反応名	ロット	転帰	CRPSの診断について	ワクチン接種との因果関係について
3	10代・女性		ガーダシル	<p>本剤接種時には、特に疼痛、しびれ、異常症状はなかった。接種2～3分後に左手第一指末端に疼痛としびれ出現し、ぴくつきが出るようになった。手指のしびれを震え、握力の減弱が持続するため大学病院紹介入院。自律神経徴候を伴う神経原性疼痛症候群を発現。</p> <p>接種2日後、症状はほぼ認めない程度に回復しリボトリールとビタミンB12内服開始し退院。</p> <p>接種10日後、自律神経徴候を伴う神経原性疼痛症候群回復。</p> <p>接種58日後、特に問題ないことを確認。</p> <p>接種228日後、2回目接種。接種後特に問題なし。</p>	複合性局所疼痛症候群		回復	<p>情報不足で判断が困難であるが、報告された内容についてはCRPSの判定指標を満たさない。症状の発現と回復過程が早く、典型的なCRPSとは判断できない。</p>	時間的關係からワクチン接種との因果関係は否定できない。
4	20代・女性		ガーダシル	<p>本剤接種1回目、その日に右肩から鼠径部に神経痛のような痛みがあった。</p> <p>本剤接種2回目、左頸部から肩にかけてのしびれあり。痛い時は左腕が挙上困難、めまい、吐き気あり。</p> <p>接種7日後、同部をひねった。</p> <p>接種翌月、随伴症状の嘔気、めまいがひどかった。</p> <p>接種48日後、嘔気あり。</p> <p>日付不明、MRI検査実施。</p> <p>報告時点で、左頸部から肩にかけてのしびれの症状は現在まで続いている。挙上困難、めまい、吐き気、嘔気は未回復。</p>	複合性局所疼痛症候群 神経痛 注射による四肢の運動低下 浮動性めまい 悪心 感覚鈍麻		不明 不明 未回復 未回復 未回復 未回復	<p>情報不足で判断が困難であるが、報告された内容についてはCRPSの判定指標を満たさない。自律神経症状、めまい、嘔吐があり典型的なCRPSとは判断できない。</p>	時間的關係からワクチン接種との因果関係は否定できない。

No.	年齢・性別	既往歴	ワクチン名	経過	副反応名	ロット	転帰	CRPSの診断について	ワクチン接種との因果関係について
5	10代・女性	副鼻腔炎、食物アレルギー(エビ)、発達障害	ガーダシル	<p>患者には、副鼻腔炎、食物アレルギー(エビ)、発達障害の原疾患/合併症があった。</p> <p>ガーダシルを1回目接種(接種部位不明)。</p> <p>接種84日後、ガーダシルを2回目筋肉内接種(接種部位不明)。接種時の痛みは訴えなし。</p> <p>接種143日後、微熱(37.5℃)を認めた。両足のだるさ、重い感じ、痺れが出現。接種医院を受診。内服薬処方。</p> <p>接種146日後、解熱認めた。両下肢の疼痛が出現した。夜間には疼痛増強し、眠れず急病診療所を受診。ロキソプロフェンナトリウム水和物(ロキソニン)処方され帰宅。</p> <p>接種147日後、疼痛が持続する為、接種医院を受診。点滴施行。</p> <p>接種148日後、疼痛及び筋力低下により歩行できなくなった。</p> <p>接種149日後、A大学病院小児科受診。特に何もなかった。</p> <p>接種150日後、B病院(当院)小児科入院。下肢の筋力低下、アロディニア、下肢の腱反射亢進認めた。両下肢疼痛、痛みの数値評価スケール(NRS:Numeric Rating Scale):8(痛みなし=0~これ以上ない痛み=10)。下肢神経伝導速度:正常、心電図:正常。入院中に変化なし。</p> <p>接種168日後、退院。その後、腰から下が痛みのため歩行できず車いすで通学等している。</p> <p>接種202日後、同日時点で両下肢疼痛は未回復であり、複合性局所疼痛症候群は未回復。</p>	複合性局所疼痛症候群		未回復	CRPSの判定指標を満たさない。2回目の接種と症状発現までの期間が2ヶ月あり、潜伏期間が長いことや、両側性の症状が認められることから典型的なCRPSとは判断できない。下肢の深部腱反射亢進は、中枢神経疾患の存在を示唆しており、末梢神経疾患であるCRPSの病態に合致しない。	評価不能